

## 2024年度第2回血液検査機器技術委員会議事録

1. 日時：2024年10月4日（金）15時30分～17時00分
2. 場所：パシフィコ横浜 会議センター5F 511+512号室
3. 出席者（敬称略）  
現地：新保、下村、井上、稲葉、高橋、金子、増田、内藤、松田、徳永、林、小野、池田（新任）、奥野、長濱、檜木（新任）、鈴木、中山、黒川、藤岡、大泉、四ノ宮、石井（代理）  
Zoom：朝比奈、常名、菅原、今田、中西、大川
4. 欠席者（敬称略）：
5. 議題
  - 1) 報告事項
    - (1) 2024年度第1回血液検査機器技術委員会議事録確認  
共有されている議事録の確認をお願いしたい。（新保委員長）
    - (2) 委員会内規について、委員の承認を得たため事務局に提出する。
    - (3) 委員交代  
理事会承認（新保委員長）
      - ・ 齋藤 憲祐委員→檜木 健太委員（堀場製作所）
      - ・ 春日 加奈子委員→池田 尚隆委員（シーメンス）今後の予定（次年度から）：遠見 真理委員→石井 葵委員  
委員会で承認された。
    - (4) 第14回血液検査機器技術セミナーについて
      - ① テーマ：「ここまで進化したフローサイトメトリー検査」
      - ② 担 当：稲葉委員、常名委員
      - ③ 日 時：2024年10月6日（日）9：00～11：40（160分）
      - ④ 会 場：第2会場（パシフィコ横浜会議センター5F 501号室）
      - ⑤ 定 員：334名（事前登録不要）
      - ⑥ 参加証明書：200部用意。希望者に配布
      - ⑦ 参加者名簿：なし（会場内のおおよその人数を数えることで代用）
      - ⑧ 内 容：講演1（9：00～10：00）  
FCM検査の特徴・最新技術の紹介
        1. フローサイトメトリー検査の最前線  
～BDが提案する自動化～  
四ノ宮 隆師（日本ベクトン・ディッキンソン(株)）
        2. フローサイトメトリー検査における  
ベックマン・コールター社製品のご紹介

方波見 幸治 (ベックマン・コールター(株))

3. シスメックス株式会社が提供する

クリニカルフローサイトメトリー製品群について

高屋 絵美梨 (シスメックス(株))

講演 2 (10:10~10:30)

FCM 検査用検体の前処理や細胞浮遊液作成の実際と

注意すべきポイント

高橋 千由紀 (東京大学医学部附属病院検査部)

講演 3 (10:30~10:50)

FCM における gating の重要性について

坪倉 美里

(国立がん研究センター中央病院臨床検査科)

講演 4 (10:50~11:10)

FCM 検査マルチカラー解析

中西 良太 (滋賀医科大学医学部附属病院検査部)

2) 審議事項

(1) 第 15 回血液検査機器技術セミナーについて

- ① テーマ: 「凝固測定装置の特徴と凝固検査の実運用」
- ② 担 当: 金子委員、井上委員
- ③ 内 容: 120 分を想定して構成

各社からの話は、

1. アイ・エル・ジャパン: ACL TOP
2. シスメックス: CN シリーズ
3. 積水メディカル: S400CF
4. PHC: STACIA CN10
5. 富士レビオ: STA シリーズ
6. ロッシュ: cobas t 711

以上 6 社を想定

✓ イントロ (2 分)

✓ 全自動凝固測定装置の新しい特長 (48 分)

各社 8 分×6

各メーカーから機器のアピールをする。

その他、最新の装置での測定系に関わるエラーやアラートに対して、どのように対応することを推奨しているのかなどを含める。

測定系の弱点というかピットフォールのものを知れるとよい。

✓ APTT 検査の最近の動向と各試薬の特長 (30 分)

各社 5 分×6

APTT 試薬の特長、APTT 試薬開発のこれまでに焦点をあて、試薬を紹介。

APTT 試薬のリン脂質の種類 (由来)、接触因子活性化物質の種類 (添付文書) など

検査の反応性 (凝固異常症、LA に対する反応性) についての特長を含める

☆「全自動凝固測定装置の新しい特長」と「APTT 検査の最近の動向と各試薬の特長」を合わせて 10 分程度で話していただき、質問を 3～4 分設けられたらと考えている。

✓ 凝固検査の実運用 (30 分)

1. 凝固検査の再検基準 (15 分) : 井上委員

各施設の現状をアンケート集計し、これらを総括する。

2. 凝固検査のこれからの将来 (15 分) : 松田委員

これまでの凝固検査検体取り扱いコンセンサスだけでなく、外注検査検体の取り扱いについて普及の意味も込めて両者を取り上げる。

今取り組んでいる APTT 検査のいろいろな問題点について総括いただく。

(2) 第 16 回血液検査機器技術セミナーについて

① テーマ : 「品質保証 (精度管理) について」

② 担 当 : 高橋委員、内藤委員

③ 内 容 : ISO 15189 : 2022 の要求事項を満たす品質保証について、各施設での実運用から是正の方法までを紹介

1. 自動血球計数機の品質保証

岩手医科大学附属病院技師長 千葉拓也先生 (内諾済)

2. 血液像の品質保証

金沢医科大学病院 大川有希先生 (内諾済)

3. 凝固機器の品質保証

横浜市立大学附属病院技師長 矢島智志先生 (内諾済)

4. ISO 15189 : 2022 要求事項について

日本適合性協会 JAB 執行役員 LAB 認定ユニット長  
下田勝二先生 又は JAB 臨床検査担当スタッフ  
(内諾済)

(3) 学会雑誌の補冊発刊について

① 委員長会議での審議報告

各委員会からの活動予定等報告にて補冊の発刊を希望している旨を報告

現段階で4つの委員会から補冊の発刊予定の報告があるが、年間の予算から発刊は2冊程度となっているため、学会予算の考慮が必要。

各委員会でもう少しテーマや内容を詰めて、その後理事会で検討する

② 発刊予定1 (2025年目標)

タイトル：「血液検査に役立つ自動血球計数装置の基礎知識と  
再検方法及び症例解析」

内 容：2020年、2021年、2023年のセミナーの内容をまとめる。

担 当：新保委員長、井上委員、常名委員、メーカー委員、今田委員  
はじめ2023年の血液検査機器技術セミナー演者

③ 発刊予定2 (2027・2028年頃目標)

タイトル：「血液凝固検査に役立つ自動分析装置の基礎知識と  
再検方法及びクロスミキシングテストの参考書」

内 容：2022年、2025年のセミナー内容をまとめる。

担 当：新保委員長、下村委員、菅原委員はじめ2022年セミナー演者、金子委員、井上委員はじめ2025年のセミナー演者

3) その他

- (1) 第13回血液検査機器技術セミナーテキストを委員会HPに掲載した。  
(新保委員長)